

建設会報 いずも



No.127 2014年 新春号



表紙の言葉



神楽ブーム

えと文 / 渡部良治

日本が世界に誇れる伝統芸能である神楽は、今や空前のブームといわれ、週末の土曜から日曜にかけて島根県や広島県内のどこかで舞われており、地域振興、観光振興の一翼を担っています。

中国山地に伝承される神楽は、古き良き時代の優雅な「伝統を守る舞」と、新しい時代に対応する「創作的な舞」とがお互いに刺激し合いながら伝承されています。

中でも人気の「創作的な舞」は、地方に伝承される神話や、民話、史話をもとに創作され、演出においても衣裳や面の早変わりのもとより、宙乗りまで現れました。

神楽の人気者は何といても鬼たちで、退治された後もアンコールによって再び蘇り観客へのサービスを行うほどで、ちなみに左が豪快な所作の男鬼、右が女鬼で変幻自在で妖艶な般若です。



C O N T E N T S

- ▶ 巻頭言／中筋 豊通〔一般社団法人島根県出雲地区建設業協会長〕……1
- ▶ 新年のご挨拶
 - ／舘 健一郎〔出雲河川事務所長〕……………3
 - ／城市 正喜〔出雲労働基準監督署長〕……………3
 - ／河村 英夫〔出雲警察署長〕……………4
 - ／黒田 耕一〔出雲県土整備事務所長〕……………4
- ▶ 記念すべき一日(黄綬褒章拝受にあたって)
 - ／長岡 秀治〔株フクダ〕……………5
- ▶ 平成24年度施工優良工事表彰／表彰一覧……………7
- ▶ 国土交通大臣顕彰受賞にあたって
 - ／飯浜 健〔株トガノ建設〕……………9
- ▶ 全国建災防大会を振り返って／平井 貴司〔安全委員長〕……10
- ▶ 年男の抱負／福代 明正〔大福工業株〕……………11
- ▶ 年男の抱負／伊藤 正彦〔山陰建設工業株〕……………12
- ▶ 平成25年度 経営研修会のご報告
 - ／手銭 弘明〔経営改善研究副委員長〕……13
- ▶ ～新分野事業を始めて～／稲田 圭悟〔岩成工業株〕……………14
- ▶ インターンシップ体験談……………15
- ▶ 第26回 サラリーマン川柳……………17
- ▶ 新任職員挨拶／杉谷 友紀
 - 〔一般社団法人島根県出雲地区建設業協会事務局〕……19
- ▶ 編集後記／日下 雅彦〔経営改善研究委員長〕……………20



建設産業・復活元年 全てが心を一つに!

一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会
会長 中筋豊通

平成二十六年「きのえうま甲午」明けましておめでとうございます。

「午」「忤」ご。進行方向の反対に向かう。さからう。そむく。もとる。の意味で、草木の成長が極限を過ぎ、衰えの兆しを見せ始めた状態を表しています。

過去の午年を見ると、1942年：ミッドウェー海戦で大敗北。1954年：ビキニで水爆実験・福竜丸が被曝、自衛隊発足。1966年：ビートルズ来日、集団チフス事件。1978年：日中平和友好条約調印、王選手・800号達成。1990年：日本人初の宇宙飛行、大学入学センター試験スタート。2002年：日朝首脳会談、小柴さん・田中さんにノーベル賞、サッカーW杯韓国・日本共同開催等々。

過去は、良いこと悪いこと、いろいろなことがあった午年ですが、2014年、今年が良い年になる様、皆で頑張りたいものです。

さて、昨年末、政府は来年度予算を閣議決定しました。歳出総額は9兆5千882億3千円、基礎的財政収支対象経費は7兆2千612億1千円で、いずれも過去最大。その内、社会保障費は3兆5千175億円、ついに3兆円を超えました。地方交付税は2年連続減額で1兆6千885億5千円、公共事業費は微増の5兆9千685億円、「14年度はデフレ脱却、経済再生、財政健全化の好循環実現のための正念場だ」と強調しました。

厳しい財政下、建設産業界は多くの課題を抱えていますが、次期通常国会では、品確法と関係法令の改正が進められると聞いています。

(案)を見ますと、目を引くのが、第1条(目的)にインフラの品質確保に加え担い手確保を入れたこと。さらに受注者の責務の条文にも、適正な予定価格を定める事、中長期的な担い手確保、発注の平準化等々、発注者の責務が拡大、また、多様な入札契約方法の中から適正な方式を選択しなさいとまで言及しています。正に発注者と受注者が垣根を越え、品質確保の促進を図り、もって国民の福祉の向上及び国民経済の健全な発展に寄与しようとしています。

改正がなされ新制度発足後、工事契約の上限拘束の廃止や、工事の内容にそった、価格にとられない多様な入札・契約が実現され、結果として平均落札率が90%後半となり、適正利潤が生まれ、建設産業界で働く人々の年収アップが図られれば、若者も飛び込んでくれるのではないのでしょうか。

会員の皆様、地域の経済や雇用を支えている中小建設産業の将来のため、魅力ある・夢が託せる産業界にするため、産・官・学、そして、総合工事業者、専門工事業者、資機材業者、更にコンサル・設計業者、全てが心を一つにして、課題克服に向かって努力を重ねて行こうではありませんか。建設産業復活の元年にしましょう！

今年もお世話になりますが、宜しくお願い致します。

ありがとうございました。



新年のご挨拶



国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

所長 舘 健一郎

平成26年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方には、国土交通行政、とりわけ斐伊川水系の河川事業の推進へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり、斐伊川水系では、今後概ね20年間の河川整備の目標、河川工事、維持管理等の内容を定めた「斐伊川水系河川整備計画（国管理区間）」（平成22年9月策定）に基づき事業を進めています。治水事業に関しては、いわゆる治水3点セットの推進を重点として取り組んでいるところです。

昨年は斐伊川の治水事業の長い歴史において特筆すべき年となりました。6月には斐伊川放水路の竣工式が執り行われ、平成6年の斐伊川放水路事業の起工から29年を経て、地域の念願であった斐伊川放水路の運用が開始されました。さらに、9月初めの洪水では放水路の初運用が行われました。この洪水では、一昨年より運用を開始している尾原ダムの洪水調節と相まって、斐伊川本川の分流堰下流で約80cm、宍道湖湖心で約20cmの水位低減効果が得られたものと推定され、その治水効果の大きさを地域の皆様にお示しすることができました。

斐伊川放水路の竣工により、治水3点セットのうち、上流部の志津見ダム、尾原ダム、中流部の斐伊川放水路が既にその効果を発揮しております。下流部の大橋川改修についても、地元協議等が進み工事が本格化しつつあります。これらの事業進捗については、貴協会会員の皆様方の長きにわたるご理解・ご協力の賜であり、改めて感謝申し上げます。

本年は、治水事業のさらなる推進による安全・安心の確保とともに、出雲地方が誇る豊かな自然環境の保全・再生にも一層力を入れて取り組んでいく所存です。出雲地方を支える基盤づくりを担う一員として、引き続き皆様方と力を合わせていきたいと思っております。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



出雲労働基準監督署

署長 城市正喜

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から労働基準行政とりわけ労働災害防止対策の推進に当たり、格別のご理解・ご協力を賜っておりますことを改めて厚くお礼申し上げます。

さて、平成25年11月末現在における当署管内の建設業の労働災害発生状況（休業4日以上死傷災害）は、36人の発生で前年同期に比べ1人の微減となっておりますが、死亡災害につきましては、平成24年1月以降発生しておらず、関係各位のご協力を得ながら、この死亡災害0の状況を継続できればと強く願っているところです。

新しい年を迎えるに当たり、当署におきましても、建設業はもとより全産業において死亡災害は1人も発生させないとの強い信念の基に、監督指導・個別指導等を展開することとしておりますが、建設業における労働災害の防止を図るためには、各事業者の皆様方がリスクアセスメントを導入しこれを行うなど自主的安全衛生活動を積極的に実施していただくことが必要不可欠であると考えております。

昨年と同様に引き続き皆様方の一層のご尽力・ご努力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の益々のご発展と会員事業場の益々の飛躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



出雲警察署

署長 河村 英夫

新年明けましておめでとうございます。(一社)島根県出雲地区建設業協会の皆様方におかれましては輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また昨年中は、お忙しい業務の中、暴力団排除活動や交通安全活動、犯罪捜査等の警察業務の各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

昨年中における出雲市内の犯罪情勢は、市民の皆様方の身近で発生する盗難事件や振り込め詐欺事件などの発生を受け刑法犯の認知件数が前年対比で若干増加に転じ、加えて交通死亡事故も増加するなど、皆様の体感治安は決して良好とは言えない状況であります。

また近年、暴力団は主要三団体を中心に勢力拡大を図ると共に潜在性を高め、その上で建設工事等へ参入するなど、資金獲得活動を多様化しています。

こうした中、平成23年4月に「暴力団組事務所の進出阻止対策・暴力団の資金獲得活動の規制・祭礼等からの暴力団排除」を柱とする「島根県暴力団排除条例」、そして一昨年4月には「出雲市暴力団排除条例」が施行され、出雲市民と行政、そして警察が一体となった暴力団排除活動に取り組んでおります。

出雲警察署管内では、皆様のご協力により長年にわたり暴力団組事務所の進出を許しておりませんが、今後も暴力団のいない明るく住みよい社会を維持していくため、皆様方には引き続き「暴力追放三不運動=暴力団を利用しない。暴力団を恐れない。暴力団に金を出さない。」の実践をお願い致します。

出雲警察署といたしましても、引き続き協会の皆様方と緊密な連携を図りつつ犯罪のない安心で安全なまちづくりの実現に向け、署員一同誠心誠意取り組んで参りますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、(一社)島根県出雲地区建設業協会の皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



出雲県土整備事務所

所長 黒田 耕一

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人島根県出雲地区建設業協会の皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

また、平素より出雲圏域の社会基盤の整備や公共施設の維持管理に対し、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

昨年は出雲大社本殿遷座祭・奉祝行事が厳かに執り行われ、多くのお客様が県内外から参拝されました。このような大きな節目に接し、ふるさとと歴史や自然の素晴らしさを再認識するとともに、様々な方から環境・景観の重要性についてご意見をいただくことが多く一年でした。

来年度は、高速道路「尾道松江線」の全線開通、「山陰自動車道」の一部区間の開通が予定されており、中四国をにらんだ広域的な観光ルートの形成と県内観光地の一層の魅力づくりが求められています。また国土強靱化基本法の成立を受け、防災・減災への取り組みが本格化する年になります。

出雲県土整備事務所としても、地域資源のブラッシュアップをはじめ競争力のある産業育成のため、幹線道路の整備・出雲河下港の整備・農業基盤の整備を推進して参ります。また老朽化したトンネル・橋梁等の修繕、市街地における低平地河川改修ならびに中山間地における生活道路・土砂災害防止などの事業を推進し、圏域の安心・安全の確保に全力をあげて取り組みます。

これには、建設産業界の協力が不可欠であり、官民で意思の疎通を図りながら、合理的で実態に即した改善を相互に行ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして新年の挨拶といたします。



記念すべき一日(黄綬褒章拝受にあたって)

みずのとみ 平成癸巳秋の出来事

株式会社 フクダ

長岡 秀治

新年明けましておめでとうございます、本年も宜しくお願い致します。

さて私こと

この度平成25年度秋の黄綬褒章拝受の栄に浴しました。これもひとえに永年にわたる皆様方の心温かきご指導とご高配の賜物と深く感謝しております。

建設産業界は依然として厳しい環境下ではございますが業界のみならず、地方経済の振興に寄与できるよう一層精進し些かなりともご芳情に報いたいと存じますので何卒従前のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

黄綬褒章は10月25日の閣議で決定し、11月3日付けで発令されております。そして13日に国土交通大臣から伝達され、配偶者同伴で天皇陛下のご拝謁があり、私にとって記念すべき一日となりました。

中筋会長よりアドバイスをいただき前日から帝国ホテル入りです。さすが一流のホテルだけあって我々受賞者に対する心配りが行き届いており明日への心の準備も万全にできました。当日朝は身を清め、私は燕尾服に家内は着物に着替え、ロビーなどあちこちで記念撮影です。11時の国土交通省において伝達式が始まるので早めに到着し、島根出身の原田審議官を始め省内の幹部の皆様にあ挨拶を済ませ、10階の式典会場に臨みました。

そこでは国旗日の丸と松の盆栽の壇上を背に65組の受賞者で賑わい式典を待っていました。式典では高木副大臣より伝達があり、記には内閣総理大臣名で「日本国天皇は長岡秀治に建設業の功勞により黄綬褒章を授与する」と書いてありました。伝達式を終え簡単な昼食が出た後は皆が褒章を胸に写真撮影が始まりましたが、この写真が一番の思い出の一枚になったと思います。



昼から国土交通省を後にバス3台で皇居に向かいました。駐車場には各省庁のバスが50台位あり、拝謁の順番を待っているようでした。

予定の2時30分になると総務省と厚労省を含めた500人程の燕尾服と金襴の着物軍団が宮中に大行進し、一番広い豊明殿に通され、拝謁の方法の説明を受け天皇陛下をお待ちしました。

予定の2時56分にお出ましになり、すぐさま代表の夫人がお礼の言葉を述べられ天皇陛下よりお言葉がありました。「今までの功労を讃えると共に今後も自愛し、貢献するよう望みます」短い中にも慈愛のオーラがあり涙が溢れたのは私だけではなかったと思います。お言葉が終わると皆の廻りを一巡し障害者の方や人命救助の数名の方に声をかけられ30分程のご拝謁でした。終わると宮中ではこの一枚しか撮れない記念の写真撮影をしていただき、夢のような一時でした。

夕方からは我々建設業協会の役員をしている10組に対し、建設業協会主催の祝賀会が東京会館で行われ、太田大臣を始め国交省幹部と中筋会長を含めた建設業11団体の幹部の皆様100名程で祝賀会をして頂きました。私も太田大臣と出雲大社の遷宮や石見災害などの話でしばらくの時間を楽しみました。

帝国ホテルの「おもてなし」、国交省での伝達式、皇居のご拝謁そして東京会館での祝賀会、私の生涯において記念すべき一日を忘れることは出来ません。この一日を与えて頂いた建設業協会、施工管理技士会等多くの方々に感謝の念を忘れずに貢献したいと思います。大変にありがとうございました。





平成 25 年度(平成 24 年度完了)

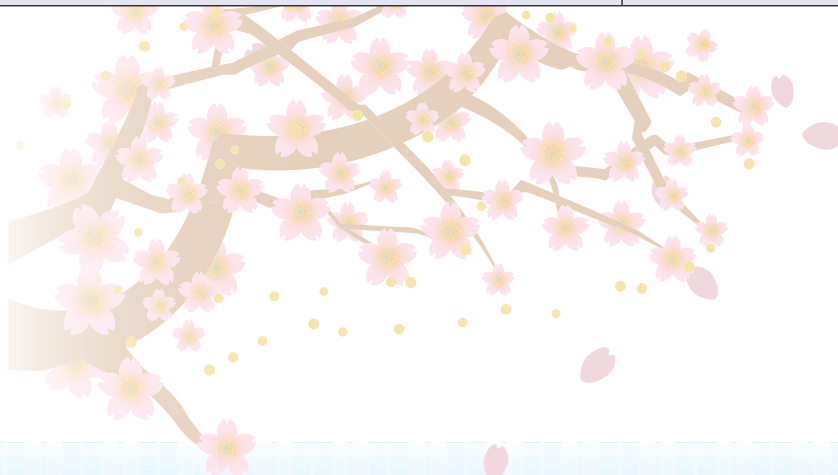
島根県優良工事等知事表彰

◇ 優秀建設技術者表彰（優良工事知事表彰）

部門	工種	工 事 名	会社名／代表者	監理技術者
土木	道路	大社日御碕線 中山工区 交付金 1号トンネル工事	中筋組・都間土建 特別共同企業体 代表者 株式会社 中筋組 代表取締役 中筋 豊通	福間 純
		出雲三刀屋線 船津工区 交付金 道路改良第2期工事	株式会社 ダイニ 代表取締役 安達 稔	渡部 義孝
農林 水産	農業 土木	農地整備事業 美談地区中工区 区画整理2工事	有限会社 米江組 代表取締役 米江 猛	宇野 斉
	森林 土木	災害関連 緊急治山事業 三津東 山腹工事	株式会社 倉橋工務店 代表取締役 倉橋 一喜	金坂 篤

◇ 優良下請工事表彰（優良工事知事表彰）

工 事 名	受注者の称号及び代表者の職・氏名
	下請業者の称号及び代表者の職・氏名
大社日御碕線 中山工区 交付金 1号トンネル工事	中筋組・都間土建特別共同企業体 代表者 (株)中筋組 代表取締役 中筋 豊通
	(株)板倉重機 代表取締役 今岡 和巳





平成 25 年度(平成 24 年度完了)

島根県優良工事等所長表彰

◇ 優良工事表彰及び優秀建設技術者表彰

部門	工種	工 事 名	会社名/代表者	監理技術者
土木	道路	国道 431 号 東林木バイパス 改築 (改良) 工事 第 3 期	大 福 工 業 株 式 会 社 代表取締役 福代 明正	
		(一) 多伎インター線 多伎工区 社会資本整備総合交付金 (改良) 工事 第 5 期	山陰建設工業 株式会社 代表取締役 磯田 真左一	福島 淳二
		(一) 田儀山中大田線 奥田儀工区 国庫交付金道路 (災害防除) 工事	株 式 会 社 安 井 組 代表取締役 安井 和広	板垣 祐司
	河川	午頭川 一括交付金 (総流防) 工事 山中橋下部工・護岸工	株式会社 トガノ建設 代表取締役 梶野 直宏	飯濱 健
	砂防	阿式谷川 通常砂防 (社会資本) 工事	有 限 会 社 間 壁 組 代表取締役 間壁 和弘	平石 晶一
建築	建築	出雲商業高等学校 屋内運動場等 リフレッシュ工事	株式会社 浜村建設 代表取締役 浜村 一雄	持田 正司
農林 水産	農業 土木	平成 24 年度 水利施設整備事業 (排水対策 特別型) 入南南地区 排水路 (その 2) 工事	株式会社 中筋組 代表取締役 中筋 豊通	奥野 崇





平成25年度優秀施工者 国土交通大臣顕彰受賞にあたって

株式会社トガノ建設

飯濱 健

この度は、出雲地区建設業協会様はじめ関係各位のご推薦を頂き、優秀施工者国土交通大臣顕彰（通称：建設マスター）という名誉ある賞を受賞させていただき誠にありがとうございました。

この賞は決して私個人で頂いたものではなく、会社の上司や同僚をはじめ家族の支えもあり、またお世話になっている関係者皆様の良き指導があってこそこの受賞だと思います。改めて感謝とお礼を申し上げます。

私は建設業に従事するようになってから、29年になります。土木工事現場の施工管理者になることを目指して、社会人への一步を踏み出しましたが、最初のうちは、先輩方に指示されたことの半分も理解できないことがあり、現場の皆さんには大変なご迷惑をかけていたと思います。日中は現場で測量・写真管理といった外業を行い、夕方以降は図面等の書類作成をする内業を主として行っていました。日々の業務をこなすことが精一杯で現場全体を把握するような余裕はなく、毎日が慌ただしく過ぎていました。

その後、資格の取得に伴い現場を任せられるようになり、徐々に現場責任者としての立場で、現場全体を見渡せるようになっていきました。

また、何度か大手ゼネコンとのJV現場に従事する機会もあり、規模の違いに圧倒されながら、いろいろな角度から現場管理をすることの大切さも学びました。

そういった状況の中で、嬉しい出来事もありました。私が担当した現場が、優良工事表彰を受けたことです。自分の仕事が発注者に認められた喜びは大きかったのですが、同時に大変身の引き締まる思いがし、とにかくいい仕事をしなければいけない、という思いが強くなっていきました。

今回このような大きな賞を頂き、改めて続けることの大切さを実感し、また大変誇りに思います。今後も技術・技能に磨きをかけ、建設マスターでいう『ものづくりの名人』に恥じないように、土木技術者として少しでも業界の発展に貢献していきたいと思います。

これからも皆様のご指導を宜しくお願いいたします。本当にありがとうございました。





第50回全国建設業労働災害防止大会 (新潟大会)を振り返って

安全委員会

委員長 平井 貴 司 (有平井組)

昨年10月10日、新潟は前日の台風が嘘のような安全大会日和になりました。会場の朱鷺メッセ、ホテル日航新潟には全国よりおよそ4,700名が参加をして開催されました。今回私は、功績賞を受賞させていただき大変に有難うございました。新潟の地は初めてで出発の前日より子供のようにわくわくしていました。東京から新幹線で一路新潟へ。さすが100万人都市という感じの印象でした。式典が始まり、錢高会長の挨拶や、来賓の方々の祝辞がありアトラクションは佐渡おけさが披露されました。そのあと各賞の表彰があり、代表者が表彰されました。

当日の講演はサンデーモーニングなどでもお馴染みのTV各局でコメンテーターを務める国際政治学者の浅井信雄氏が「変わる世界、日本の課題」と題して講演をされ会場のみなさん熱心に聞いておられました。その夜の懇親会は当日が中筋会長の誕生日ということもあり、またまた飲んでしまいました。会長には、ケーキのプレゼントというサプライズをして(会長少し涙目?)一次会の後は繁華街で二次会など大変楽しいひと時でした。また来年の全国大会を楽しみに安全委員のみなさん頑張りましょう。





年男の抱負

大福工業 株式会社
福代明正



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方すべてが、希望に満ちた新年をご家族そろってお迎えのこととお慶び申し上げます。

甲午(きのえうま)昭和29年生れの私は無事還暦を迎えることができました。健康にも恵まれ日々を過ごすことができる喜びを感じるとともに、この身体を送って呉れた両親に感謝の思いを常に忘れることなく、暮して行きたいと思います。

さて、長く冬の時代を過ぎてきた建設業界ではありますが、全国的に見れば、東日本大震災からの復興事業、そしてアベノミクスの景気対策による公共投資の増大化により多少とも明るさが増してきているのではないのでしょうか。島根県にもこの風は及んで来ると思います。企業の永続と発展を目指す一経営者としては、この機会に『企業倫理の確立』『法令遵守』『危機管理体制の確立』の3本柱を経営の中心に据えて、生き残る企業をつかっていきたいと考えています。

人の命は限りがあり、活躍できる期間は思っている程長くはないのですが、企業はその風土、理念、体質などを整えることができれば、百年単位で続けることが可能なことは実例が示しています。社員と共に一歩ずつ目標に向って鋭意努力を積み重ねていきたいと決意を新たにしております。

会員企業の今後の発展を祈念し、皆様方の^{いやさか}弥栄をお祈り致します。





年男の抱負

山陰建設工業 株式会社
伊藤正彦



新年あけましておめでとうございます。

私は本年3度目の年男を迎えるに至りました。抱負を述べるにあたり、若輩の稚拙な文章で任を全うすることができるか甚だ不安ではありますが、綴らせて頂きたいと思えます。

私が山陰建設工業に入社したのは今から13年前の平成13年4月のことでした。大阪の大学を卒業して地元就職の道を選んだ私はグループ会社の山建プラントの経理として入社、その後、山陰建設工業の営業部へ異動し松江支店勤務やグループ会社の湖東工業を経て現在の本社営業部勤務となりました。入社3年目の25歳に結婚、その後子宝にも恵まれ3人の子供を授かることもできました。

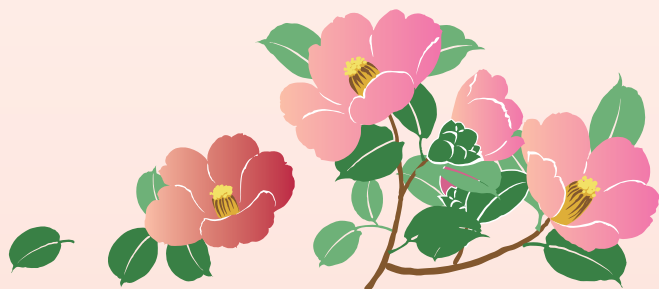
改めて振り返ってみると仕事でもいろいろなことがありました。営業の右も左も解らない自分を時には優しく、時には鬼のように厳しくご指導頂いた上司の方々。苦楽を共にしつつ苦勞を押し付けた(?)同僚のみなさん。すべて私のかけがえのない財産です。社外に出ても百戦錬磨の方々にもみくちやにされ、自分の思慮の浅はかさを痛感し、涙した日々もありました。しかし、人との繋がりは次第に増え、先輩にご指導、ご鞭撻を賜り、知識・経験・人間関係に磨きがかかってきたと思えます。本当にありがとうございます。

昨年、オリンピック開催地は東京に決定、消費税増税が決まり、その影響でなのか微妙な所ですが、景気の兆しが見え隠れする中で、この業界の事を鑑みてもまだまだ希望の見えない闇夜の荒海を航海するような状況だと思います。まだ今は大きな力には成りえていないと思いますが、日々研鑽を重ねいつかは楯となり剣となり、いずれは先をも照らす光となってこのぐんゆうかつきよ群雄割拠の建設業界を盛り上げ生き残っていきたいと思えます。

私自身、まだまだこれからです。人との繋がりは人生の財産！新年からお客様にしっかりとおもてなしをし、より一層、人との繋がりを大切にしていきたいと思えます。

頑張るのはいつですか？今でしょ！！

本年もどうぞ宜しくお願い致します。





平成25年度 経営研修会のご報告

経営改善研究委員会

副委員長 手銭弘明 (有神門組)

講演会: 「今後の経済見通しと建設業の動向、将来展望について」

講師: 日刊建設工業新聞社 取締役企画編集委員 内海 豊氏

去る11月18日(月)、平成25年度経営研修会を経営改善研究委員会担当にて開催致しました。会員の皆様には、何かとご多用のところ多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

今回は、ここ数年の閉塞感を経験した業界が、多少なりとも上向きに転じるだろうかといった期待感を胸に、また全国的な動向を探るべく、西日本建設業保証(株様)にお世話して頂き、日刊建設工業新聞社 取締役企画編集委員 内海 豊氏にご講演頂きました。

講演は七つのキーワードを柱に、お話して頂きました。

① アベノミクスと公共投資

三本の矢+ a (東京五輪)によりデフレ脱却、懸案事項は消費増税・異次元の金融緩和・1000兆円の財政再建

② 国土強靱化を巡る動き

強靱化(防災)は主要施策に位置付けている

③ 建設投資の現状と課題

2013年度の建設投資は23年ぶりに2桁増だが、投資の選択(防災、減災、維持修繕)と集中(東北、五輪)の懸念、その集中が他県に影響危惧※他県はもちろん島根県も含まれている

④ 建設産業を取り巻く現状と課題(技術者・労務不足・入札制度)

若者の深刻な建設離れ、建設就労人口の激減、不毛な競争は避けよ、理論武装必要

⑤ 有力市場はPFI、維持補修、エネルギー

インフラ整備の主役は官から民へ、維持補修のパッケージ化、環境問題への対応必至

⑥ 地域建設業の存在価値

地域を守る地域建設業、災害対応で大きな役割実証、地域社会・住民との関わり

⑦ 変革による混沌は好機

待ちの時代は二度と来ない、地域存在メリットを生かせ、生き残りの鍵は人財※黒田官兵衛のような軍師が必要か…、失われた20年(失われたのは経済面より、むしろ「日本の心」)・若者が熱意を失い将来に期待が持てなくなっている、上を目指す活力がなくなっている、精神・考え方のデフレスパイラルから脱却目指して前向きに、かくありたいという意思表示、業界の理論武装

以上、報告となりますが、これらのキーワードを生かすも殺すも自分次第かも知れません。それぞれが閉塞感を打破し、かつ業界の底力が問われるときが来たのかも知れません。



～新分野事業を始めて～ GENKI NEXT 出雲

岩成工業 株式会社

営業部 稲田 圭悟

昨年6月に機能訓練特化型デイサービス「GENKI NEXT 出雲」をオープンしました。GENKI NEXT 出雲は、「寝たきりにさせない」をモットーとした通所介護施設（デイサービス）です。株式会社介護NEXTとフランチャイズ契約を結んだのが2012年12月ですので、開設までのスケジュールは非常にタイトでしたが、FC（フランチャイズ）本部、島根県高齢者福祉課等の方々に御指導頂き、予定通りオープンすることが出来ました。

施設の開設にあたっての課題は資金と人材の確保でした。資金は出雲商工会の指導を受け、島根県と出雲市の建設産業新分野進出関係の補助金を利用させて頂きクリアすることが出来ましたが、人材については最後まで苦戦しました。GENKI NEXTは、通常の介護福祉施設に求められる国家資格者とは別に、柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・理学療法士・作業療法士・看護師等の国家資格者が必要だったからです。

日本は、2012年に団塊の世代が65歳を迎え、超高齢化社会に突入しました。それと同時に、65歳以上の方々が活躍し続けられる社会作りが課題になると考えています。

GENKI NEXTは、高齢者が介護に頼らない、自立した生活を提案する午前、午後2部制のデイサービスです。従来の入浴や食事などのサービスは除き、介護整体や足岩盤浴を施し身体機能の回復・維持・向上に効果的なストレッチ・筋力トレーニングの指導、実践を主体とした真の介護予防を目指したサービスを提供しています。私は、GENKI NEXTこそ、今の時代に求められている介護福祉施設だと思っています。

現在、ご利用者様も順調に集まり、予防介護の効果を実感しているという声も頂きました。「歩くのが楽になった。」「出掛けるのが楽しくなった。」という声を聞くと、介護事業に進出して本当に良かったと思います。

地域の安全と安心を守り続けてきた建設業として、これからは地域の高齢者の方々の健康を守るにより更に元気溢れる出雲にしていきたいとスタッフと共に願っています。



インターンシップ事業に協力しています

当出雲地区建設業協会では、毎年出雲市内にある出雲農林高等学校、出雲工業高等学校の生徒をインターンシップ（現場実習）事業として受け入れております。インターンシップの目的は、産業現場で勤労体験をすることにより、学習の進化及び個性の伸長と進路意識の高揚が図られると共に、協調性を養い、地域産業の認識を深めることにあります。

しかしながら、近年、建設産業への就職を希望する学生の減少を耳にしており、建設産業の果たす役割や正確な産業界の姿を伝えること、ものづくりの喜びや高度な技術力を身近に体験して頂き、併せて進路意識の高揚を図り、建設産業に対する理解を深め、関心を高めていただくことも我々の役目であると考えます。

インターンシップ 体験談



島根県立出雲工業高等学校

建築科2年 難波和成

11月12日から14日までの3日間、岩崎建設有限会社で現場体験をさせていただきました。以前より、建築の仕事に興味があった私は、このインターンシップをとっても楽しみにしていました。

最初に、岩崎建設の会社概要の説明を聞きました。工事現場管理を主に行っている会社で、現場監督として仕事に携わるときの姿勢やより安全で快適な建物を建てるために心掛けていることなどさまざまな話を聞きました。次に、セオライトを使って測量を行いました。据え付け方法など学校で習ってはいましたが、ここでプロの技を見せてもらい感動しました。

2日目は、「J A いずも」新築工事現場に行き、作業体験をさせていただきました。

たくさんの図面や資料を見せてもらい、工事現場の見学をしました。一つの大きな建物をつくるために、いろんな業種の会社や人が協力しながらやっておられるのを見て改めて建築現場に興味を持ちました。午後は、現場の掃除を手伝いましたが、物がたくさんあるのに繁雑でなく整理がきちんとされていました。あいにくの雨模様でしたが、誰一人として手を緩めることなく、一生懸命自分の仕事に集中しておられる姿を見て、自分も見習わなければと思いました。

3日目は、松江市内の2軒のコンビニ新築工事現場に行きました。モルタルを穴に充填する作業をしたり、掃除をしたりしました。ここでも、安全な作業をするためにはきちんと整理整頓し、きれいに掃除をすることの大切さを感じました。また、基礎の鉄筋についての土をブラシを使って落とす作業をしました。コンクリートの付着を高め、より丈夫な基礎をつくるために必要な作業です。この日は、基礎配筋検査の日だったそうですが、無事に合格したそうです。

この体験を通して、どこの現場で働く人も、雨の中でも、どんなに寒くても責任をもって自分の仕事をしておられる姿は、とても格好良く見えました。私たちが担当してくださった方の一人が、「会社に入りたての頃は、よく叱られた。今でもたまに叱られるし、今でも毎日が勉強の連続で大変だけどとても充実している。」と話されました。

私も、充実した毎日が送れるこの仕事に就けるよう頑張ろうと改めて決心できた貴重な体験でした。岩崎建設の皆様に変にお世話になりました。ありがとうございました。





島根県立出雲農林高等学校

環境科学科 2年 高橋 慎也

インターンシップ初日は、会社や工事現場の雰囲気が分からなくて不安でしたが、現場の人が優しく色々なことを教えてくださったので徐々に慣れることができました。現場では普段自分があまり目にしないような重機がたくさんあり興味を持ちましたが、と同時に周囲の安全を確認して動かなければ大変なことになってしまうと思い、工事現場では決して気を抜いてはいけないと思いました。

また、まだ学校では使用していない光波測距儀を使わせてもらうことが出来ました。ミラーに合わせてボタンを押すだけで距離が表示されてすごいと思いました。工事現場では測量の技術も欠かすことのできないものだと思います。

9月に入ってもまだまだ暑く、その上危険防止のために長袖で作業しなくてはならず、汗もかなり出ていましたので、水分補給も細かく行う必要があると感じました。

また、説明などを聞いていると、自分がまだ知らない専門的な言葉がたくさん出てきて、その度に戸惑ってしまっていたので、もっともっと勉強していかなければいけないと思いました。

これからここで得た経験を学校の実習などで活かしていけるように頑張りたいです。



島根県立出雲農林高等学校

環境科学科 2年 藤田 航輝

5日間のインターンシップを終えてみて思ったことは、現場では自分の知らない機械がたくさんあったり、見たことのないような作業が見られたりと、とても良い体験をさせてもらったなということです。

指導者の方にはレベルの据え付け方を教えてもらい、学校で実習を行っていた時よりも上手に出来るようになりました。現場では測量が色々な場面で使われていることが分かったので、もっと勉強して上手に早くできるようになりたいと思いました。

ミニバックホーに乗せてもらった時は、初めての操作だったのでとても難しかったです。私はこういった重機の運転をして仕事をしたいと考えているので、色々な資格や免許を取りたいと思いました。土嚢作りも体験しましたが、作業を甘く見ていました。作業中はとても腰が痛くなり大変で、終わった時はもうこんな作業はしたくないと思うほどきついものでした。CAD操作は難しい中にも楽しいと感じることが出来ました。

また、安全通路の設置や転落防止柵などを作った時は、こういうものを作ることによって、安全に作業や行動が出来るのだと分かり勉強になりました。

この一週間はきつい作業もあって大変なこともありましたが、たくさんのことを教えてもらい学ぶことができたので、とても良い経験になりました。またこういう体験をしてみたいと思いました。

サラリーマン川柳

ベスト10

第一生命保険株式会社では、例年サラリーマン川柳コンクールを実施し、サラリーマンはもとより、OLや主婦、学生など誰でも参加できる「サラリーマン川柳コンクール」の作品を受け付けております。

(一社)島根県出雲地区建設業協会では、日頃仕事に追われ、多忙な毎日を過ごされている会員の皆様の気分転換の一助になれば、との思いから2011年の建設会報に掲載したところ、思いのほか好評を博したところであります。

そのため、昨年実施された第26回コンクールの結果を今回も掲載することに致しました。皆様、どうかひと時の間仕事から離れて、このページをご覧ください。思う存分堪能してください。

一位

いい夫婦
今じゃどうでも
いい夫婦

マッチ売りの老女

三位

「辞めてやる！」
会社にいいね！と
返される

元課長

二位

電話口
「何様ですか？」
と聞く新人

吟華

四位
風呂にいた
ムカデを叩けば
ツケマツゲ
おやし。パニユ。パニユ

五位
ダルビツシュ
一球だけで
わが月給
A B N A 4 8

六位
スツピンで
プールに入り
子が迷子
アジ

七位
人生に
カーナビあれば
楽なのに
元サラ

八位
すぐキレる
妻よ見習え
L E D
忍耐夫

九位
ワイルドな
妻を持つ俺
女々しくて
あんこもち

十位
何かをね
忘れたことは
覚えてる
万華鏡



第26回 第一生命
サラリーマン川柳コンクールより



新任職員挨拶

一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会

事務局 杉谷友紀

平成25年4月より(一社)島根県出雲地区建設業協会に勤務し始めて、9か月が過ぎました。初めてのことが多く戸惑うことばかりですが、一日一日を精一杯やっていくうちに、もう1年が終わってしまったという感じです。高校生活では味わえなかった程よい緊張感の中で毎日がとても充実しています。協会事務局は様々な会社の方が来られますが、会員の皆様の顔と名前をまだしっかり覚えることができず、ご迷惑をおかけしたこともあると思います。まだまだ未熟ではありますが、わからないことは事務局の皆さんが丁寧に教えてくださるので、一人で気負うことなくのびのびと仕事に取り組むことができます。

高校では、ダンス同好会と経済調査部という部活動に所属していました。

ダンス同好会では、神話博や神話祭りなどの地域のイベントでステージ発表をして、イベントを盛り上げる活動をしました。同好会とはいっても部員は30人以上で、大人数で動きを揃えることが大変でしたが、そこが魅力的な部分で3年間楽しく活動でき、とても良い思い出となりました。

また経済調査部では、出雲発祥とされる『出雲ぜんざい』の歴史を学び、地域の様々なイベントで、自分たちで作ったオリジナルのぜんざいや、地元のお菓子屋さんと共同開発したぜんざいスイーツなどを販売しました。また、島根県高等学校生徒商業研究発表大会で最優秀賞を受賞、中国大会では優秀賞を受賞し、県外の方々に出雲の魅力についてPRする活動もしました。こうした部活動を通して、出雲の魅力を知り、地域の方と接するうちに、出雲で就職して少しでも地元へ貢献できれば、という思いを持ちました。まだ地元へ貢献できるほどのことはできませんが、まずは早く仕事を覚えて皆様のお役に立てるようになりたいと思います。

私は高校で、仕事をしていくうえでコミュニケーション能力を持つことが大切、ということを知りました。ですが、私は初対面の人と会話をするのが苦手な性格で、会員の皆様や事務局にいらっしゃった方々とうまくコミュニケーションがとれていないな、と感じることがあります。この職場は一般の会社とは少し違った環境で、職場外の方と接する機会が多いので、そういった自分の欠けている部分を補い、向上していくことができればと思います。

最後になりましたが、皆様にはこれからもご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、初心を忘れず、お世話になる方々に常に感謝の気持ちを持って、自分なりに精一杯努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



編 集 後 記

昨年の流行語大賞は、皆様ご存じの通り「今でしょ!」「お・も・て・な・し」「じえじえじえ」「倍返し」の4つでした。大賞を1つに絞らなかった（絞れなかった）理由は、その全ての言葉にインパクトがあり我々日本国民に勇気と感動を与えてくれた言葉だったからなのではないかと思っています。私自身この4つの言葉はよく使ったフレーズで、特に「今でしょ!」は中学校の入学式の祝辞の中に引用させていただきました。私は「お・も・て・な・し」の気持ちで引用したつもりでしたが、あとでその場にいた家族からは「じえじえじえ」の「倍返し」を食らいました・・・(笑)。

さて、大賞には届きませんでしたでしたがトップテンに選ばれた「アベノミクス」は、デフレと景気低迷からの脱却を目的とする安倍政権の経済政策を標語化したものですが、国民の関心はその言葉より中身でした。3本の矢である「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」がどこまで景気を引き上げられるか?というところです。

今年4月の消費税増税がどこまで影響を与えるのか?東北の復興や2020年東京オリンピック誘致がどこまでここ出雲地方にまで影響をもたらすのか?・・・昨年の経営研修会で講演をいただいた日刊建設工業新聞社の内海豊氏によればかなり厳しい展望予測と聞きましたが、まず精神、考え方のデフレスパイラルからの脱却を目指し、前向きな取り組みを進めなければと私自身も気を引き締めたいと思います。

編集・発行人 一般社団法人
島根県出雲地区建設業協会
経営改善研究委員会